**新しい飛行経路案に関する検討経緯**

資料１

2022年9月 第12回関西３空港懇談会で、関西空港の容量拡張について

・2030年代前半を目途に年間発着回数30万回の実現

・2025年万博までに１時間あたりの処理能力を概ね60回に

引き上げること

を目指すこととした。

2023年6月　関空の将来需要へ対応するため、地元（関西３空港懇談会）から

の要請に応えて、国が新しい飛行経路案を提示

2023年8月　新経路案に関し、環境面での影響などを客観的・科学的見地から

検証するとともに、改善策の提案等をまとめるため、大阪府・兵

庫県・和歌山県が共同で、環境検証委員会※を設置

　　　　　　　※騒音、交通工学、地域経済などを専門とする有識者６名で構成

**環境検証委員会での検討経緯**

2023年 8月　第１回委員会

・騒音予測の前提条件等を議論

2023年11月　第２回委員会

・**関空協から書面による意見聴取（別紙①）**

・騒音予測結果（暫定案）の公表

➡最も厳しいケースでも全ての陸域で「環境基準未満」を確認

2023年11月～2024年1月　現地調査

・委員長以下が、淡路島、岬町等を現地視察し、首長と意見交換

2024年1月　第３回委員会

**・「中間とりまとめ」の公表（別紙②）**

➡騒音予測の修正を行うとともに、改善提案等をまとめる

2024年2月 環境検証委員会の提案を踏まえ、地域（関西３空港懇談会）

から国へ改善要請

2024年3月　地域の要請に対し、**国の回答（別紙③）**